

グローバル・フード・セキュリティ協働プログラム

グローバル・フード・セキュリティ協働プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AP001	特別研究I	3	6.0	1・2	通年	随時	研究室	渡邊 和男, 小野道之, 北村 豊, 中村 幸治, 吉田 滋樹, 繁森 英幸, 中島(神戸) 敏明, 楊英男, 山田 小須弥, 内海 真生, 野村 名可男, 菊池 彰	生命産業科学の各専門領域に関する実験, 調査, データ解析手法を具体的事例に即して習得させ, 博士論文作成の指導を行う。	対面(オンライン併用型)
02AP002	特別研究II	3	6.0	1 - 3	通年	随時	研究室	渡邊 和男, 小野道之, 北村 豊, 中村 幸治, 吉田 滋樹, 繁森 英幸, 中島(神戸) 敏明, 楊英男, 山田 小須弥, 内海 真生, 野村 名可男, 菊池 彰	生命産業科学の各専門領域に関する実験, 調査, データ解析手法を具体的事例に即して習得させ, 博士論文作成の指導を行う。	対面(オンライン併用型)
02AP003	生命産業科学特論	1	2.0	1	春AB	木7,8	生農 G501	粉川 美踏, 渡邊和男, 中村 幸治, 徳納 吉秀	生命産業を支える最新のバイオ科学技術の研究・技術動向について論じる。生物資源の産業利用に必須な国際取引や規制対応、技術移転等において、生命倫理や多様性保護との関係を俯瞰しつつ国際的な課題解決を図れる能力を身につける。また、母国や出身母体、研究分野の異なる多様な人材との積極的な交流と議論を促す。これを通して国際感覚を磨き、グローバルな課題について柔軟に対応できる能力を身につける。	0BNM011と同一。主専攻必修科目。オンライン(同時双方向型)
02AP004	グローバル・フード・セキュリティディベート演習	1	2.0	1	秋ABC	木7,8		グローバルフードセキュリティ協働プログラム委員	プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置づけを認識することを目的とする。要所で個別の講義も盛り込む。食料保障は世界レベルで相互依存となっていることの理解を深め、世界のフードセキュリティと持続性における国連のSDGs(Sustainable Development Goals)達成に関連づけ世界規模課題について、多様な方向性と施策を議論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水資源や土地等の生産資源の持続性について認知し、諸国で重要度の高い農業機械の利用、産物の保蔵加工、農業生産の総合管理(特にIPM, integrated pest management)及び育種について、学生個々の深い研究課題と関連づけつつプログラム参加学生が幅広い知見の理解を醸成させる。	02AL401, 02AM401, 02AN401と同一。英語で授業。
02AP005	グローバル・フード・セキュリティインターンシップ	3	1.0	1・2	通年	応談		グローバルフードセキュリティ協働プログラム委員	グローバル・フード・セキュリティディベート演習による基礎理解ののち、学生が個別に農業開発について調査課題を起案設定し、筑波大学協定校や海外事務所の支援に基づき、課題調査(海外での調査を勧奨)を行い、報告会にて報告を行う。	02AL402, 02AM402, 02AN402と同一。英語で授業。
02AP006	グローバル・ヒューマン・セキュリティディベート演習	2	2.0	1	秋ABC	木7,8	生農 G501	TPHRD運営委員教員	プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置づけを認識することを目的とする。食料保障が世界レベルで相互依存となっていることへの理解を深め、世界のフードセキュリティと天然資源持続性について国連のSDGs(Sustainable Development Goals)達成に関連づけ、多様な方向性と施策を世界規模で議論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水資源や土地等の生産資源の持続性について認知し、諸国で重要度の高い農業機械の利用、産物の保蔵加工、農業生産の総合管理(特にIPM, integrated pest management)及び育種について、プログラム参加学生個々の研究課題と深く関連づけつつ幅広い知見の理解を醸成させる。	02AL403, 02AM404, 02AN403, 0BNM901と同一。英語で授業。対面 Face-to-face meetings in principle, but may be done online depending on circumstances.
02AP007	グローバル・ヒューマン・セキュリティインターンシップ	3	1.0	1	通年	応談		TPHRD運営委員教員	グローバル・ヒューマン・セキュリティディベート演習を通して得た理解を基礎として、トランスワールド実務人材養成プログラムの主題である食料保障と天然資源管理への貢献について、個々の学生が調査課題を起案設定し、課題調査を行い、報告会にて報告を行う。特に、筑波大学協定校や海外事務所の支援に基づき、海外での調査を勧奨する。調査のための旅費等は、大学の海外派遣資金による支援を行う。(通年1年春学期ABC-2年秋学期ABC):10月入学のため	グローバル・ヒューマン・セキュリティディベート演習の単位取得後、履修すること。02AL404, 02AM405, 02AN404, 0BNM902と同一。英語で授業。オンライン(同時双方向型)